

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	川崎市北部地域療育センター		
○保護者評価実施期間	令和7年1月6日 ～ 令和7年1月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	116 (回答者数)	81
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日 ～ 令和7年1月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	23 (回答者数)	23
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちにとってわかりやすい環境設定	・写真や絵カード等を活用して視覚的な支援等の充実に取り組み、お子さんにとってわかりやすく安全な環境設定に留意している。 ・今からすぐに行うこと、その次に行うことなどをカード等を提示して、おこさんが見通しを持って自分から行動できるような関わりを進めている。	・お子さんが安心して意欲的に行動できるような環境設定をさらに進めています。 ・そのために、心理職や作業療法士等の専門職との連携を充実させながら、プログラムや指示の内容をさらに分かりやすく提示できるよう取り組みます。
2	子どもたちや保護者のニーズに応じた児童発達支援計画の作成	・保護者の皆様の思いを受け止めつつ、おこさんにとって今必要な支援を実施するため、様々なツールを使用・分析して、5領域を関連付けた計画を作成している。 ・発達支援・家族支援・地域支援の内容を支援計画に取り入れている。	・日々の活動場面でのアセスメントや専門職によるアセスメント結果等を反映させながら、児童発達支援管理者がクラス職員と共同し、一人ひとりのおこさんの発達特性に応じた支援計画を作成してまいります。
3	児童発達支援計画に基づいた小集団での個別支援	小集団で活動することの利点を生かしながら、一人ひとりのおこさんの発達課題に応じた目標を設定し、個別的な声掛けや視覚的な情報を充実させるなど環境設定に留意して支援に取り組んでいる。	小集団での活動を通して、他児や他児の保護者、職員などと一緒に様々な生活スキルや遊びを経験する中で、一人ひとりの発達ニーズに応じた支援を行い、発達の的な変化を促す取り組みをさらに進めています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者のニーズに応じた研修会や学習会の設定・周知	・クラス単位で年齢に応じたテーマを設定し年2～3回、学習会を行っているが、開催日に欠席等、参加できないご家庭がある。 ・年2回、父親を対象に保護者同士の意見交換と親睦を主にした父親交流会を行っており、セミナーや学習会は実施していない。	・例年継続して行っているクラス内での学習会や、広く地域の保護者向けにセンターのイベントとして行っている「ほくほく講座（地域講座）」について、内容や広報を充実させながら、参加者が増えるよう取り組み進めています。 ・通園クラスで行っている懇談会や交流会の内容について利用者のご意見を収集し、充実できるよう検討します。
2	地域の子どもたちとの交流の機会の提供	・併行通園しているお子さんが多く、所属園で充実した生活ができるよう支援に取り組んでいる。 ・併行通園をしていない年長児を対象に、コロナ過以前は地域の保育園との交流を設定していたが、センター内での行事の充実を優先し交流の再開には至っていない。	・センターの他に所属園を持っていないお子さんについては、インクルージョンを進めるための方策として地域の保育園との交流について調整を図ってまいります。 ・併行通園のお子さんについては、所属園でのインクルージョンが円滑に進むよう施設支援や保育所等訪問支援を進めてまいります。
3	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の周知・説明	通園クラス利用の契約時に、契約書及び重要事項説明書とともに各マニュアルについても説明を行っているが、保護者が各マニュアルを自由に閲覧・確認できるための時間や場所の設定が不十分なところがある。	センターで作成している各マニュアルについて、保護者が自由に閲覧・確認することができ、かつ必要な質問等ができて安心してサービスを利用できるように、説明の仕方や配置場所等について工夫してまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日						利用児童数		回収数	
川崎市北部地域療育センター 児童発達支援センター		令和7年 3月 31日						令和7年 1月 1日	116名	81枚	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	78	3	0	0	・運動ホールや園庭などもあり十分だと思う。(3件) ・クラス内を分けて活動を実施する際に、声が聞き取りづらいことがある。 ・5人ぐらいがちょうどだと思う。 ・通園だけでなく、訓練の部屋も十分なスペースがある。	活動スペースについては、プログラムのねらいや目的に沿って適切な環境となるように調整を行います。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	79	1	0	1	・活動の内容により、サポート人数が調整されている。(2件) ・手厚い態勢がとれている。(3件) ・充分するくらい安心して通うことができる。 ・もう少し手厚くしてほしい。 ・担任が休みの際に、補助で入った職員の質が確保できるよう取り組みます。	・引き続き、クラスの状況に応じてフォロー職員が入る等、適切な支援が実施できるよう調整を行います。 ・全ての職員が専門性の向上のための内部研修や勉強会、外部研修会等に参加し、補助的に参加する際にも適切な支援の質が確保できるよう取り組みます。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	76	2	0	3	・一人ひとりに合わせて環境作りを工夫してくれている。 ・やや古い部分があると思う。 ・障害特性はさまざまなので、他のお子さんに関して適切かわからないですが、自分の子どもには配慮が行き届いていると思う。 ・概ねできていると思うが、職員の関わり方に経験の差を感じる。 ・いたずら対策をもう少ししてほしい。 ・子どもはまだ理解できていないと思う。 ・個人マークや支度の同線など細かく考えられていると思う。玄関やクラスの鍵なども良く考えられている。	・おごさんにとって分かりやすい環境設定・情報提供のあり方について常に検討と振り返りを行い、一人ひとりの特性への配慮を充実させていきます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	#REF!	#REF!	#REF!	#REF!	・とてもきれいに掃除されている。 ・玩具のローテーションをこまめにしている。 ・やや古い部分があると思う。 ・良い環境だと思う。(2件) ・トイレが清潔で使いやすい。(2件) ・見守りのみで一人でトイレができています。 ・保育園、幼稚園に比べると常に清潔で、部屋も整頓されていて快適。 ・冬場は温水が出ると良い。 ・ホールや園庭も子どもに合っている。	・清潔で心地よい生活空間・活動環境の設定について今後も進めていきます。 ・2階の保育室に関しては水道水のみでしたが、工事を行い、4月から温水も利用できるような準備を進めています。			
	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	69	9	0	3	・学ばせてもらうことが多い。 ・一人ひとりの特性に合わせて支援してくれているのがとてもありがたい。 ・こどもにどのような支援が良いかわからないため、判断できないが、楽しく過ごしている。 ・一般的な内容と思うため、専門性に疑問を感じる。 ・悩みがある際は必ず専門職と一緒に支援してもらっている。	おごさん一人ひとりの特性等に応じた、個別の支援を今後も充実させていきます。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	70	5	0	6	・家族の意見を聞いてもらいつつ、いつもプログラムに基づいている。 ・適切な支援をしてもらっているが「支援プログラム」がわからない。	支援プログラムは保護者に説明の上、配布をしています。また、各クラスにもファイル掲示をしています。引き続き、丁寧な説明に留意していきます。			

適切な支援の提供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	74	5	0	1	・支援目標の項目を増やしてほしい。 ・共働きには難しいところがある。 ・一人ひとりにあった課題ができています。 ・成長に合わせてステップアップされている。 ・日頃の様子を面談などで話をきちんとして、一緒に作成してもらっている。	・未回答1 引き続き保護者の皆様のおいとおこさんに必要な支援をツールを使用して分析し、計画を作成していきます。ツールは毎年見直しを行っています。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	76	2	1	2	・具体性はないと思う。困りごととはそれぞれ違うが、みんな同じことをしているため。 ・家でも実践したり、役立っている。 ・具体性はやや不十分に感じる。 ・本人に合わせた支援をしてもらっているため、家族側も不満はない。 ・分からない部分はきちんと説明がされ、具体的にステップアップされている。	・必要な支援を具体的にを行うことができるよう、児童発達支援責任者、担任等で確認をします。 ・おこさん・ご家族に対してわかりやすい具体的な目標設定ができるよう、見直しを行います。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	72	6	0	3	・集団での活動だが、一部は行われていると思う。 ・計画や目標達成に向けて支援してもらっている。	小集団の中で個別の目標に沿った支援が行えるよう、今後も個別的な配慮の内容や環境設定を活かした活動を進めていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	65	10	0	6	・毎回様々なプログラムを計画してくれていて子どもたち飽きずに参加できている。（3件） ・着席して取り組む経験にはなっているが、やや課題が簡単に思える。ただし、自信をつけるという意図では良さそう。 ・様々なねらいを持った活動があり勉強になる。 ・繰り返し行うことにより、意図的に注目できる頻度があがった。 ・毎日のスケジュールを見たり、親子通園日で活動している中で工夫を感じる。	・クラス単位で毎回の支援について振り返りを行い、支援内容の工夫を充実させていきます。また、様々な経験を積めるような設定を行います。 ・プログラム内容については、必要に応じて繰り返し行うことがありますが、自主性や持続力、自己肯定感の向上等も期待できると考えています。こうしたことについても保護者に丁寧に説明するよう取り組んでいます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	46	3	20	11	・通所していたクラスではなかった。（3件） ・必要性を感じない。 ・交流はよいが、加配についてもう少し考えていきたい。 ・保育園やレスパイト先と連携いただいている。 ・幼稚園や同じ地域の友達とも交流できている。	・未回答1 コロナ禍以前は5歳児母集団クラスを対象に近隣の保育園との交流を行っていましたが、現在は行っていません。再開に向けて近隣保育所と調整をしています。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	77	1	0	1	・丁寧な説明があった。（2件） ・全体説明もわかりやすく、ソーシャルワーカーとも密に話することができた。	・未回答2
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	81	0	0	0	・丁寧な説明があった。（3件）	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	65	8	1	7	・行われているが、夫婦で聞ける機会があると良い。 ・様々な内容でもっと開催してほしい。 ・ペアレントトレーニングはなかった。（2件） ・活動時間内に研修を増やして欲しい。 ・もう少しSNS等で情報発信してほしい。 ・いつも相談できるように話を聞いてもらえ、電話もさせてもらっている。	・家族支援の充実に向けた取り組みを引き続き進めていきます。保護者向け研修会や講座等の案内については、今後も館内掲示・アプリメール・ホームページ上で周知するなど情報提供に努めます。 ・保護者のニーズの把握に努め、ニーズを反映させた企画の開催を進めていきます。

保 護 者 へ の 説 明 等	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	71	7	1	2	・いつも丁寧に对应してもらえて助かっている。 ・親よりも知っていることがあるとすら思うくらい。良く見てくれている。 ・月2回の活動なので、深い部分での理解は難しいかと思う。 ・活動時間内だと短く感じてしまうため、もっと話ができたらと思う。 ・出来た事だけでなく、つまづきポイントへの関わりも伝えてもらえてありがたい。 ・ゆっくり伝えられる場面は少ない。 ・定期的に話ができています。 ・連絡帳にもいつも1日の生活を分かりやすく書いて下さり、それを見れば一目瞭然である。	・登園時に保護者と直接話をする場面をさらに有効に活用していきます。 ・クラス支援の前後や保護者懇談会などを利用して、さらに共通理解を深めるために保護者とお話をする機会を設定していきます。 ・連絡帳や電話、面談等で引き続き共通理解を図ることができるようにします。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	77	3	1	0	クラスでの様子やアドバイスをもらえたり、相談しやすかった。 1回だけ。 必要時に助言をもらえており、助かっている。	半年に1回定期的な面談を引き続き行います。そのほか、日頃から情報共有や具体的な助言等を行います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	77	3	0	0	・温かく接してくれている。 ・自分事のように共感してくれているので、精神的にも助けられた。 ・手厚いフォローをもらった。 ・バスの先生や窓口の方、担任の先生はもちろん他のどの先生や職員においても共感的に支援してもらっている。	・未回答1
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	30	14	7	24	・そのような支援はなかった。(3件) ・支援や活動があるのは知っているが、参加した事はない。(3件) ・きょうだい向けのイベントがあるかわからない。(2件) ・土曜開催があると嬉しい。 ・保護者同士の座談会や共有の場がもう少し欲しい。 ・父親向けのセミナー、勉強会があると良い。 ・きょうだい向けのイベントをしてほしい。(2件) ・きょうだい児のケアについて学びたい。 ・動画配信してほしい。 ・様々な交流の機会がある。	・未回答6 ・保護者の皆さまの情報交換の機会について、回数や時間なども含め検討します。 ・活動プログラムと調整を図りながら、限られた時間を有効に活用して設定いたします。 ・いただいたご意見については、センター全体で共有し、実践できることから進めていきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	66	3	1	6	・バス停に関して意見をしたら、配慮をもらえた。 ・訓練や通園時に相談させていただいている。 ・年長に進級するにあたり、相談させてもらいこちらの意向などもお伝えしたところ、考慮していただけた。	・未回答5
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	73	1	1	1	・トラブルに発展しないようすぐに対応してくれる。 ・定期的にお話できている。 ・保護者が話やすいようにいつも聞く姿勢でいてくれている。	・未回答5
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	51	10	2	1	・もう少し積極的にSNS等で情報発信して良いと思う。(2件) ・発信されている。(2件)	・未回答4 ・HPでは、ほくほく通信（センター全体広報誌）の発信や事業所評価等の結果も公表しています。 ・HPでの発信状況についてさらに広報していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	71	0	0	6	・個人情報取り扱いの事故に関して、関係がなくても説明してほしかった。 ・他の方の情報に触れる機会はなかった。 ・問題ない。(2件)	・未回答4 個人情報の取り扱いに関して、外部講師による研修会や所内マニュアルの再確認等を行い、適切な取り扱いを徹底する取り組みを行いました。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	56	4	3	14	・定期的に避難訓練があったり、説明も受けている。 ・隔週登園のためわからない。 ・体調不良者数やセンター内での感染症をわかりやすく伝えてほしい。 ・具体的な内容は把握していない。	・未回答4 ・訓練についての説明やマニュアルの周知方法を検討します。 ・地域で流行している感染症等については、所内掲示板にて情報を掲示していますが充実に向けて検討していきます。

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	53	4	4	16	・参加していないためわからない。 ・隔週登園のため、訓練の日にあたらなかった。 ・隔週登園のためわからない。 ・定期的に行っているかわからない。	・未回答4 ・センターとして月1回訓練を行っています。隔週登園クラスのお子さんは日程上参加できない場合があります。 ・参加できない場合には訓練内容の説明や緊急時の対応策等について周知方法を検討します。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	66	4	0	7	・隔週登園のためわからない。 ・先生方含め、職員のフォローは十分だと思う。 ・看護師の在中や環境設定など安心して通園できている。	・未回答4
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	54	4	0	19	・大きな怪我等がなかったので、わからない。（5件） ・隔週登園のためわからない。 ・病院との連携も十分だと思う。	・未回答4
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	73	1	0	1	・子どもも親も毎回楽しく通えた。家庭以外で安心できる場所があるのはありがたいと思う。 ・通園時の顔が幼稚園の時と違い、安心していると伝わってくる。 ・クラスの友達の様子によっては不安そうな表情をすることがある。 ・安心して通えた。（2件）	・未回答5 ・プログラム内容を適宜検討し、お子さんに安心感や期待感を持って通所してもらえよう環境設定を行います。 ・保護者がお子さんの特性を理解し育児に活かせるよう、保護者支援の充実に取り組みます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	70	5	0	1	・普段の保育園より楽しみにしている。 ・週1回のみだが、毎回楽しみにしている。 ・とても楽しんでいる。（2件） ・明日の活動は何か聞いて来る。 ・安心して登園できている。 ・朝から幼稚園とセンターの時でテンションが違う。 ・毎日楽しみに通っている。 ・バスを見ると嬉しそうに行くので楽しみなのわかる。	・未回答5
	29	事業所の支援に満足していますか。	68	6	1	1	・支援が手厚く入園できたことが幸運だったため、もっと枠を増やしてほしい。 ・いつもありがとうございます。 ・「何か違う」「そこではない」と感じることがある。 ・共働き向けにもサポートしてほしい。 ・子どもだけでなく親も単独通園時の安心感が違う。 ・満足です。（3件）	・未回答5 - 保護者の皆様のご意見を伺いながら、今後も、お子さんのための発達支援や保護者ご家族への支援、地域移行に向けた支援の充実に向けた取り組みを進めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
川崎市北部地域療育センター 児童発達支援センター		令和 7年 3月 31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	17	6	年齢や人数に合わせた部屋（広さ）を使用している。	親子通園日や人数の多いクラスは部屋の狭さを感じることもあるため、環境設定の工夫や調整を引き続き行います。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	18	5	配置基準を満たした上で、利用児の状態等を勘案し必要性に応じてフォロー職員が入る体制をとっている。	クラスの状況に応じてフォロー職員が入る等、引き続き調整を行います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	20	3	絵カード等の視覚的な支援や、棚やバーションを使用しての環境調整を行っている。お子さんの様子に応じて個別の空間等も設定している。	引き続き、必要な修繕や環境設定を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	21	2	毎日、療育終了後に清掃を行っている。また、お子さんの人数や特性等に配慮した環境設定をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	7	おこさんの様子に応じて個別の空間を設定したり、別部屋を使用している。	・未回答1 ・限られた空間の中で必要に応じて円滑に調整・対応ができるよう検討を進めます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	19	3	・クラス担任だけでなく、看護師や理学療法士・作業療法士等と連携を図りそれぞれの専門性を活かしながら支援している。 ・できる限りその日のうちに振り返りを職員間で行っている。 また、職員の業務については、研修やOJT等を計画的に行っている。	・未回答1 職員間で行われているPCDAサイクルのイメージがつかず、未回答があったと思われます。業務のイメージをわかりやすく説明するようにします。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	21	2	事業所評価を毎年実施しており、ご意見等をできることから業務改善に反映させている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17	5	・自己評価を毎年実施している。 就業形態別や役職ごと等のミーティングを開催して意見を把握し、できることから業務改善に反映させている。	・未回答1 意見の反映について、難しさを感じている意見もあったため、優先順位や合意形成に留意しながら業務改善に努めます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	22	1	・定期的に第三者による外部評価を実施している。評価結果を踏まえできることから業務改善を進めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	21	2	・勤務年数等に応じた定期的な内部研修がある。 ・外部研修を受講できる仕組みがある。また、受講者による伝達研修も行っている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	23	0	・必要な関係者ミーティングを随時実施しながら支援プログラムを作成をしている。	・内容が適切であること、保護者への丁寧な説明すること、作成後できるだけ早く公表することに留意している。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	23	0	個別面談やアセスメントツールを通して、保護者の方に困り感を聞き取る等してアセスメントを実施している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	22	1	児童発達支援計画は、児童発達支援管理責任者とクラス担任で会議を行い作成をしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	21	2	日々の支援の振り返りで、計画に沿った支援を話し合えていると思う。 また、児童発達支援計画に沿った日々の記録を行うことで、意識をして支援できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	18	4	アセスメントツールを使用して実施しているだけでなく、日々の様子観察からもアセスメントを行っている。アセスメントツールは毎年見直しをしている。	・未回答1 ・統一したアセスメント用紙を使用したアセスメントを行っていますが、職員間で認識が不十分な部分があったため、ツールの適切な活用について周知を徹底します。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	21	2	児童発達支援ガイドラインに沿った支援計画の作成を行っている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16	6	クラス職員でアイデアを出し合いながら立案している。専門職にもプログラムのアドバイスをもらっている。	・未回答1 ・各職員のアイデアを大切にしながらチームでのプログラム立案に努めています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	19	4	・お子さんのステップアップを考えながらプログラムを設定している。 ・同様のプログラムが続く場合はねらいを説明している。	・研修会等で得られた知識や職員の創意・工夫を取り入れていきます。 ・同じ活動でもお子さんの新たなねらいを確認しあいながら支援を行っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	21	2	集団活動を基本としながらも、特性に応じた個別的なねらいや配慮点を意識しつつ支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	21	2	・支援の振り返り後に次の打ち合わせを行っている。 ・当日朝はバス添乗業務もあり、十分にできないこともあるため、その場合は事前に行っている。	各クラスで工夫をしながら、職員間で打ち合わせを今後も行っていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	22	0	活動内容やお子さん1人ひとりの行動について支援の振り返りを行い、次の活動プログラムについて話し合っている。	・未回答1
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	22	1	一人ひとりの個別の記録やクラス毎に活動記録を毎回とっている。その中で検証を行い、改善点も記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	22	1	・日々の振り返りや記録の入力等によるモニタリングを行っている。 ・半期毎に計画の見直しを行い、個別面談を実施して説明を行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	23	0	担当者会議の目的に合わせて適した者が出席している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	23	0	所内ソーシャルワーカー等と協力し、地域の関係機関と連携を図りながら支援を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	23	0	・所属園と連携しお子さんの様子確認や、必要に応じた園訪問等を実施している。 ・就園時移行支援として書面や訪問、電話連絡で情報の提供・共有を行っている。 ・保育所や幼稚園等と併用利用できるクラス設定を行っている。	引き続き、地域でのより良い過ごしを目的として、保護者の方より様子を伺ったり、所属園への電話連絡や訪問を行ったりして情報共有を行います。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	21	2	・保護者同意のもと、入学前に就学先職員の見学受け入れや、電話・文書での情報共有を行っている。	文書や電話連絡等での情報共有を行っていますが、より良い方法の検討や内容の充実をめざしていきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	19	3	・地域の幼稚園・保育園職員や障害児通所支援事業所に向けて連絡会や講座を開催している。 ・川崎市内の地域療育センターと連絡会を開催し、情報交換や研修会を行っている。	・未回答1 ・障害児通所支援事業所との十分な連携に向けて、関係機関と協力しながら取り組みを進めています。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	19	4	・年間計画に基づいて発達支援専門の大学教授のスーパーバイズを受けている。 ・外部研修への参加を推奨している。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	15	6	・地域支援部のソーシャルワーカーと役割を分担しながら参加をしている。 ・今年度開始された通所支援事業所連絡会には児童発達支援管理責任者が参加している。	・未回答2 職員への周知が不十分のため、未回答等があったと思われます。 ・新たに設定された会議等については十分な周知に留意します。
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	14	・併行通園を進めており、多くのお子さんが地域の園に所属があるため、交流できている状況がある。	・未回答2 コロナ禍以前は近隣保育園との交流を定期的に行っていたが、現在は行っていないため、併行通園していないお子さんのために再開できるよう調整をしていきます。

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	22	0	・共通理解のために毎回個別に保護者と話し、活動のねらいや様子を伝え、保護者からは日々の様子を伺っている。 ・単独通園日は連絡帳で様子の共有を行っている。	・未回答1
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	16	5	・親子通園による家族支援に努めている。 ・発達状況や関わり等について具体的に説明や実例を示す他、随時相談に応じている。	・未回答2 ・親子通園時の支援の充実をめざします。 ・引き続き、クラス学習会やセンター全体講座(ほくほく講座)を開催します。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	23	0	・運営規定は受付にて掲示している。 ・重要事項説明書に利用者負担について分かりやすく記載している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	23	0	日々の様子や面談での相談等を受け、アセスメントツールで意向を確認しながら作成をしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	23	0	書面を提示しながら説明をし、保護者から同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	23	0	親子通園日や単独通園日の連絡帳、面談、電話等でお話を伺い、助言や支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	19	4	・父親交流会やファミリーディ(土曜日療育)を行っている。また、施設貸出をしている。 ・親子通園時に保護者同志の交流の機会を作っている。	・未回答1 ・保護者交流の場を療育内で設けていますが、職員への認識が不十分であったため、未回答となったと思われます。 ・職員への周知を充実させていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	22	1	・保護者からの相談には都度応じ、対応をしている。相談内容については職員間で共有している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	22	0	・クラスだよりは毎月発行し、活動や行事等の予定をお伝えしている。 ・センター全体の広報誌(ほくほく通信)を発行し、クラス掲示やホームページ掲載を行っている。	・未回答1
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	23	0	・外部に持ち出す際は、管理簿で書類の管理を行っている。 ・個人情報の取り扱い等に関する研修を実施している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	23	0	・おこさんへは絵カード等視覚的な支援を用いて意思確認が必要に応じ行っている。 ・クラスたよりにフリガナをつける等を行っている。 ・携帯用外国語翻訳機を準備している。	次年度からは、保護者のために作成するほぼすべての文書類にフリガナをつける対応します。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	13	10	・地域の方々に自由に参加いただけるよう作品展を実施した。 ・地域の行事(片平こどもフェスタ・麻生福祉まつり)に参加した。	・未回答1 ・地域に開かれた事業運営の実態の職員周知が不十分だったため未回答等があったと思われます。 ・十分な周知を行います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	23	0	・必要なマニュアルの他通園バス内での災害マニュアルも整備している。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	22	1	業務継続計画を策定し、訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	22	1	・契約時やその前に看護師と聞き取りを行っている。 ・必要に応じて主治医へ情報提供書を依頼し、確認をしている。 ・予防接種は書面で確認をしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	23	0	・給食開始前やアレルギーがわかった時点で、医師から指示書を頂き、栄養士・看護師と確認の上、給食提供を行っている。 ・宗教や疾患への対応食も行っている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	22	1	安全計画を作成し、計画に沿って研修や訓練を行っている。	

14	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	21	2	・契約時に全員の保護者に対して説明を行っている。	重要事項説明書等で、防災訓練の実施等は保護者へ周知を行っています。引き続き、ご理解いただけるような周知を行います。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	19	3	職員室内にヒヤリハット事例を掲示し、周知・共有をしている。	・未回答1 ・ヒヤリハットの傾向を分析し、再発防止に向けた取り組みを進めます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	22	1	チェックリストを使用し、個人で対応の振り返りをしたり、定期的な研修を行っている。	・未回答1
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	22	1	身体拘束適正化委員会を設置し、組織的な検討を行った上、児童発達支援計画へ記載をして、支援を行っている。	・未回答1